



Yusu-hara Town above cloud  
雲の上の町 ゆすはら

第134号

令和8年1月20日

# 四万十源流

[町議会だより] Town Council Newsletter

## 祝二十歳

令和8年二十歳を祝う集い

令和八年



● 高橋町長、1期目に臨む所信を述べる

● 12月定例会・臨時会 議案審議の概要

● 一般質問 雲の上のホテル跡地の活用策は？

来米 豊史 議員

● 一般質問 子どもたちが安心して学べる教育環境を守るには

森田 呂弥 議員



# 迎春



市川岩亀 議長

初春を迎え

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年も皆様にとって

輝かしい年になりますよう

ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和八年 元旦

議会議長 市川 岩亀

## 梶原町議会

議長 市川 岩亀  
副議長 森田 呂弥

## 議会運営委員会(6人)

委員長 土釜 清  
副委員長 西川 慶男  
委員 矢野 明  
委員 藤原 伸  
委員 来米 豊史  
委員 西川 豊正  
オブザーバー 市川 岩亀  
オブザーバー 森田 呂弥

## まちづくり常任委員会(8人)

委員長 西川 豊正  
副委員長 藤原 伸  
委員 矢野 明  
委員 来米 豊史  
委員 森田 呂弥  
委員 土釜 清  
委員 市川 岩亀  
委員 西川 慶男

## 議会広報編集委員会(7人)

委員長 来米 豊史  
副委員長 西川 慶男  
委員 矢野 明  
委員 藤原 伸  
委員 森田 呂弥  
委員 西川 豊正  
委員 土釜 清

## 事務局

局長 市大 美奈  
書記 氏原 香理



森田呂弥 副議長



西川慶男 議員



土釜 清 議員



西川豊正 議員



来米豊史 議員



藤原 伸 議員



矢野 明 議員

# 行政報告



行政報告を行う吉田町長

町長は、令和7年9月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。(抜粋)

## 叙勲関係

- 瑞宝単光章（消防功労叙勲） 受章 神明司氏（元梶原消防団分団長）
- 黄綬褒章受章 川上義範氏（茅葺き職人）

## 総務課関係

- 物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金事業について
- 令和7年度物価高騰対策支援事業商品券交付事業について
- 選挙管理委員会選挙時登録について
- 梶原町長選挙について

- 梶原町議会議員補欠選挙について
- 令和7年国勢調査について
- パートナーシップ宣誓制度について
- 第56回西部四国山地消防相互応援協定市町等連絡協議会について
- 東京海上日動火災保険株式会社との包括連携協定について

## まちづくり産業推進課関係

- 空き家活用促進事業について
- 移住者の状況について
- 特産品開発事業について
- 若者定住対策審議会の答申について

## 森林づくり脱炭素推進課関係

- 梶原町脱炭素先行地域事業について
- 地域マイクログリッド構築工事について
- 木質バイオマス発電所（熱電併給）建設工事について
- 木質ペレット製造施設増設工事について

## 保健福祉課関係

- 民生委員児童委員協議会解散式について
- 梶原病院・保健福祉センター30周年記念行事について

## 環境整備課関係

- 令和7年度治山・林道コンクール受賞について

## 生涯学習課関係

- 雲の上の神楽大会の開催について
- 梶原高校「梶原ディスカバークラブ」2025年度文教文化賞文教協会賞受賞について
- 岩本直也氏 令和7年度地方教育行政功労者表彰（文部科学大臣表彰）受賞について
- 教育委員 岩本直也氏退任について
- 石積み学校ワークショップの開催について

## 表紙写真の紹介



## 「二十歳を祝う集い」

令和8年1月3日、ゆすはら夢未来館で行われた「二十歳を祝う集い」。17人の若者たちが、家庭への感謝と将来への希望を胸に、輝かしい節目を迎えました。

※議会事務局による取材のため出席者全員ではありません。ご了承ください。

## もくじ

P2 新年のごあいさつ

P3 行政報告

P4～P6 高橋町長  
1期目に臨む  
所信を述べる

P7～P11 12月定例会  
議案審議の概要

P12・P13 一般質問

P14 12月臨時会  
議案審議の概要

P15 議会活動報告

P15 寄付のお礼

P15 閉会中の  
所管事務調査事項

P16 令和7年度議長杯争奪  
ゲートボール大会

P16 あとがき



# 高橋町長、1期目に臨む 所信を述べる

## 【感謝】

この度2期8年間にわたり梶原町政発展と町民が幸福感を感じながら暮らすことができた町づくりはもとより、高知県、全国の中山間地の活性化のため、昼夜を問わず東奔西走のご活躍をなされてこられました。吉田尚人町長が12月20日任期満了を機に勇退をされました。

この間、地方を取り巻く厳しい社会状況のなかで、数々の業績を打ち立てられました。そのご功績と今日までのご労苦に、町民の皆様方とともに、深甚なる謝意を示したいと存じます。

さて、その禪(たすき)を受ける者として、不肖私が町民の皆様方からご支持をいただきまして、こうして所信を述べる場を与えていた

だき、改めて、皆様から託された思いをかみしめ、その責任の重大さに身の引き締まる思いをひしひしと感じているところであります。

もとより浅学菲才な私ではありますが、粉砕身努力してまいりますので、今後のご支援ご協力を今以上お願い申し上げます。

## 【選挙の総括】

私にとって3回目の挑戦となる厳しい状況下での選挙でありました。町民の皆様のご支持をいただき、当選させていただきましたことは、私にとって何よりの自信につながりますし、大きな勇気をいただきましたことに心から感謝申し上げる次第であります。

今後におきましては、町民の皆様一人ひとりとコミュニケーション

ションをしつかりとはかり町民の一体感を再度構築できるよう努力していく所存であります。

## 【高市政権の動向】

今年10月に女性初の内閣総理大臣が誕生しました。新内閣発足により、従来の「地方創生」を経済重視の「地域未来戦略」へと転換し、積極的な財政出動

による地方経済の底上げが図られるようになっております。危機管理投資による公共事業の拡大として、「日本列島強靱化」を最優先課題に揚げ、事前防災や老朽化インフラ対策への投資を加速するなど地方の建設業や関連産業に直接的な経済波及効果が期待されます。また、新たな地方支援交付金の創設として「地域未来戦略本部」

を設置し、地方の産業支援を目的とした新交付金の創設を発表しました。

しかしながら、このような大規模な国債発行を前提とした財政出動は、将来的な増税や社会保障費の削減につながる恐れがあり、持続可能性への不安が残ります。

## 【梶原の社会状況と課題】

急激な人口減少と高齢化の進行により、2025年11月末の人口は3018人で、高齢化率は46%に達しており、今後も自然減が避けられず2050年には1400人まで減少すると推計も出ているなか、地域医療の維持も重点課題として挙げられております。本町の地域医療の核である梶原病院経営についても検討してまいります。

また、産業の担い手

不足や地域の伝統文化の保存や、集落単位でのコミュニティ活動の維持が困難になりつつあります。生活基盤の確保を守り抜き、医療、公共交通など住民の安心・安全を支える生活インフラをいかに維持し続けるかが、将来に向けた最大の課題とらえております。

## 【目指すまちづくり】

現在の厳しい町財政運営のなかでは、大きな構造変化が必要になってまいります。トップダウンではなく横にいかに関わり、大きく強固につながるものが求められるのではないのでしょうか。強靱さのなかに柔軟さを兼ね備えたつながりが必要であり、住民、役場、議会、各種団体が一枚岩となり地域がつなが



り、お互いを認め合い、協力し合うことこそが今後の梶原町の未来を創り育てていくことだと考えております。

町民の皆様一人ひとりが自分たちでこの町を創るんだ、守り育てるんだという意識を持ち「町民一人ひとりが主役のまちづくり」の共通認識を持てるよう努力してまいります。

議会議員を通算4期務めさせていただき、その間、町内を何度も何度も巡回させていただきました。今回、一般企業に勤めていたこともあり4年ぶりに町内を巡回させていただきましたが、少子高齢化の波は思った以上に大きく空き家は増え、農地の荒廃は進み、それでも住み慣れた土地を離れることなく最後までこの土地で「生ききたい」と願う皆さ

んと握手した時の手のぬくもりを忘れてはならないとしつかりと心に刻みました。改めて

町民の皆様一人ひとりがそれぞれの生きがいや幸福感を感じ、安心して安全に暮らし、最後まで「生ききる」とができる町づくりに全力で取り組みたいと再認識いたしました。また、こうして町内を巡回するなかで幹線道路の改良は順調に進んではきましたが、集落に通じる道そのものや側溝、法面の立ち木など命を守るべき道の多くに、安全とは言えない状況があることも身に染みて感じたことであります。

そうした状況の解消への取り組みを含め、「医療・福祉の充実」「教育の充実」「産業振興」「安心して暮らせる環境づくり」「災害に強

いまちづくり」に取り組んでまいります。

まず、医療・福祉の充実につきましては梶原病院が30周年を迎えました。各地では大型病院が経営困難になり閉鎖される状況下、梶原町においても人口減少の波のなか、赤字経営がこれからも見込まれる状態になっております。しかしながら僻地であるからこそ病院の存続は重要になってきます。病院だけではなく他の事業と組み合わせた経営が必要となってくると考えます。町民の皆様と知恵を出し合い一般企業で培った経営感覚を十二分に発揮して存続に全力で取り組みます。また社会福祉協議会や社会福祉法人カリスト

会、四国部品株式会社などの各種団体と連携協議しながら高齢者の

移動手段や独居の方々の支援、障害のある方々の望ましいあり方を検討してまいりますとともに、保健・福祉・医療の一体的な取り組みの更なる充実に取り組みんでまいります。

教育の充実につきましては「自身あふれる梶原人を育てる教育の確立」を基本方針として、「地域ぐるみの教育の推進」「基礎基本の徹底と生きる力の育成」「保幼小中高の一貫教育の推進」「生涯を通じて主体的に学び続ける環境づくりの推進」「安全・安心の教育環境の整備」の5つの基本施策に沿った指導教育に取り組みます。特に「地域ぐるみの教育の推進」において

は本町ならではの人の温かさや連携、協働体制により人間味あふれる教育となりうる可能

性から保護者や地域住民が一定の権限と責任を持つて学校運営に参画することを促進し、学校・家庭及び地域が、それぞれの役割を果たしながら連携し、子どもの育成に取り組みます。

また、梶原高校においては、産業の担い手育成とリンクした取り組みを行い、林業科の設置を推進し、県の林業大学校と連携した未来の林業担い手として活躍できる仕組みについて関係各所と協議を

始めます。

産業振興につきましては、林業において、現在着工中の木質バイオマス発電事業が本格稼働を迎えることとなることから、木材の搬出及び加工の担い手育成が急がれると考えます。梶原の財産である山は守り育てる時期か

ら活用する時期に移行しており、関連各所と事業システムの確認と安定供給に伴う協議会を立ち上げ安定した産業となるよう支援してまいります。

農業・畜産においては、J・A及び県の農業関連部門と農家を含めた協議を行い基幹品目の見直しや後継者育成における手厚い支援等の密な協議を行います。

さらに、これまでこの町をささえていただいた企業やそれぞれの産業に従事する皆様との連携をこれまで以上に強めてまいります。

若者がこの町から出ていかなくて済むような、出ていった若者が帰ってこられるような条件整備に取り組みます。

安心して暮らせる環境づくりにつきましては、安心して安全に暮らし、最後まで「生き

きる」ことができる町づくりとして、命の道の整備や危険箇所の解消、安定した飲料水の確保は、安心して暮らすための基盤整備として、これまで同様しっかりと取り組んでまいります。

災害に強いまちづくりにつきましては、高齢化が進み、若い人が少ない地域では、個人の力だけでは対応できません。よって他からの支援の仕組みが重要であります。そのために、災害を防ぐ核となる消防団活動を重視し、日頃の訓練や集会に力が入るよう支援するとともに自主防災組織と企業、各種団体と連携した地域防災体制の強化に努めてまいります。加えて消防団の機械力整備や防火水槽など必要な施設整備を進めてまいります。

また、住宅裏のけがれ崩れ防止や道路の法面の強化など国、県の防災公共事業の導入に努めてまいります。

### 【行政経営】

今後、ますます地方を取り巻く財政状況は厳しさを増していきま。特に国、県に大きく財源を依存している本町においては、単に財政環境の悪化をのりこえるだけではなく、限られた財源で、梶原町の地域社会の持続的発展と住民の満足度を高める行政運営を実現することが最も求められていきます。健全な財政運営が基本であり、

歴代町長や町議会の皆さんが築いてこられた中央省庁や国県とのパイプを強靱なものとしてつなぎ、財源確保に全身全霊で取り組む覚悟であります。

一方で、健全な財政運営には、今後、自立を目指すことも必要になってきます。ただサービスを提供するのではなく経営感覚を持ち、財源の確保に自治体自体が行動することが今後の明暗を分ける鍵となることは間違いないとあります。一般企業は、赤字経営では成り立つことはできません。行政の組織能力をもう一段階上げていき、今までの行政の考え方にとらわれず、主体性を持った成長する経営を目指してまいります。

### 【未来へ】

太郎川公園開発計画のおおよその青写真が出来上がる段階にきています。しかしながら、住民の皆様の理解や、同意が得られていなかったり、物価高騰

による資材の価格が上がったりで8年間進まない状況が続いておりました。この原因は歴代町長の思いや公園整備での基本的な構想の伝授がうまくいかなかったからだと考えています。今後は一度原点に戻り、今までつないできた思いを確認させていただき、勇気を持って、見直させていただきます。太郎川公園をなぜ玄関口と位置付けたのか、それは本丸が梶原町内だと指し示していたからだと考えます。ただ単に公園整備をするだけではなく、ホテルの大小だけの議論ではなく、本丸の利益がはつきりと見える町づくり計画が同時に示されていないことには玄関口の意味が無いも同じだと考えるからです。この計画は開発に終わりなき公園

と中越準一町長が言われたこともありました。時代は変化していきけれど、公園の形は時代に沿って変わっていくけれど町民の皆さんの幸福を考えたい歴代町長の思いは一つであつたと思っております。後世に悔いを残さず、町民の皆様の笑顔を思い未来へ繋ぐためにも早急なまちづくり計画と未来を見据えた開発計画をスピード感を持ちながら町民の皆様と知恵を絞り、一緒になつて、必死になつて進めていく所存でありますので今後ともご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

以上、所信の大綱を申し上げますが、私は梶原町において、初の民間出身ということもあり、歴代町長には行政手腕も推進力も遠く及ばないとは思いますが、梶原が大好きで、梶原の人がもつと好きで、梶原を良くしたいという熱き思いは誰にも負けないほど抱いております。民間出身であることをプラスととらえ、継承するところ

はしっかりと継承し、取り入れるべきは取り入れ民間と行政互いの良いところを兼ね備えた組織とし、ひたすらに前進していく所存であります。

市川議長をはじめ、議員の皆様方のご指導を仰ぎながら、職員とともに、「町民一人ひとりが主役のまちづくり」を目指して、まちづくりの歩みを一歩一歩前進させてまいりますので、今後とものご協力を賜りますようお願いを申し上げます。まして私の所信とさせていただきます。

12月  
定例会

議案審議の概要

提案され審議した主な議案についての概要（※質疑は抜粋）

専決処分

一般会計補正予算（第4号）

＜主な補正内容＞

梶原町議会議員辞職に伴う補欠選挙実施にかかる経費について令和7年10月1日付けで専決処分したので承認を求めるもの。

●総務費

35万9千円

承認

全員賛成

一般会計補正予算（第5号）

＜主な補正内容＞

人事院勧告に基づく町職員給与改正による職員の給料月額の上上げと期末手当、勤勉手当支給率及び通勤手当等の改定並びに、職員の異動等に伴う各費目間、会計間での人件費の調整。

●総務費

▲5千240万4千円

飯母移住定住促進住宅の雪害による雨樋修繕料他

●民生費

367万8千円

児童等の入院件数増による福祉医療扶助他

●衛生費

245万9千円

带状疱疹予防接種者増による国保連合会負担金他

●農林水産業費

3千930万9千円

要望件数増による農業基盤整備等事業補助金他

●商工費

▲313万3千円

実績見込による太郎川公園施設光熱水費他

●土木費

1千611万円

水処理施設送風機取替修繕等の見込みによる下水道事業会計繰出金他

●公債費

▲132万1千円

令和6年度の借入額及び利率の確定による長期債利子の減額

●諸支出金

▲34万5千円

繰り替え運用に伴う保健文化社会福祉基金積立金他

可決

全員賛成

※松原診療所特別会計補正予算（第1号）から給与集中管理特別会計補正予算（第1号）までの説明は省略する。議案一覧と議員賛否状況を参照。

条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部改正について

地方公共団体情報システムの標準化に伴い、一元的に住登外者の登録・管理を行う「住登外者宛名番号管理機能」が共通機能として設けられることになったが、その機能を扱う事務については、マイナンバーの独自利用を行う事務等として条例に定める必要があり、所要の改正を行うもの。

可決

全員賛成

梶原町景観条例の一部改正について

令和6年度に実施した四万十川流域景観計画改定業務において、四万十川流域の5市町で協議・検討を行った結果を反映し、各市町の景観計画の変更を行うとともに、併せて、その根拠法令である梶原町景観条例を改正するもの。

可決

全員賛成

梶原町犯罪被害者等支援条例の制定について

本町において犯罪被害者等の平穏な日常生活の支援を実施し、町民が安全で安心して生活できる地域社会の実現に向けて取り組んでいくため、犯罪被害者等基本法に基づき条例を制定するもの。

可決

全員賛成





犯罪被害者支援相談の最初の窓口である役場総務課

Q

犯罪被害者相談を受け持つ窓口部署と、その部署は積極的姿勢で状況の把握に努めるのか。

藤原伸議員

A

総務課長

相談窓口は総務課を想定。対応は内容により保健福祉課や教育委員会と連携し子育て支援の問題やいじめ等への対応へと繋ぎ、各種制度への申請サポートも行う。受け身かつ積極的に応じる用意がある。



完成間近の木質バイオマス発電所建屋内に搬入される発電機等の様子

### 梶原町地域マイクログリッド設備の設置及び管理に関する条例の制定について

現在、梶原町脱炭素先行地域事業において工事をしている地域マイクログリッド構築工事及び木質バイオマス発電所建設工事が令和8年3月末に完成の見込みであることから、これらの設備の設置及び管理に関する条例を制定するもの。

可決

全員賛成

Q

条例案第3条で「マイクログリッドは常に良好な状況において管理」とあるが現在町内の各公共施設の管理は多少の劣化や故障の修繕を見送り結果として多額公費を用いての修繕となっている。メンテナンスは業者以外にも管理者が日々チェックするのか。

藤原伸議員

A

森林づくり脱炭素推進課長

機械設備に関しては日々の業務、点検を十分に行い運営を行う。また地下埋設設備も適正な時期に必要な管理を行う方針。

### 梶原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部改正について

一般職の期末手当及び勤勉手当の支給率改定に伴い、特別職について一般職の改定割合に応じた期末手当の改正を行うもの。

可決

全員賛成

### 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告等を踏まえ、一般職の給料月額及び通勤手当並びに宿日直手当、期末手当、勤勉手当の改定を行うもの。

可決

全員賛成



梶原町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法の改正により、条例で定める事項とされた乳児等通園支援事業の設備及び運営にかかる基準について条例を制定するもの。

可決

全員賛成

Q

藤原伸議員

誰でも理由を問わずとあるが、こども園利用に関して受け入れを断られる不安を抱く保護者がいる。いかなる理由でも受け入れることに相違ないか。

A

生涯学習課長

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）では、子どもが健やかに成長していくことを目的としているため、家庭で保育ができないという理由を問わないことになっている。

梶原町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

災害弔慰金の支給等に関する法律の適用の対象となる自然災害が発生した場合、被災した遺族等に支給する災害弔慰金または災害障害見舞金について、町においてその支給の判断が困難な場合、法律に基づき弔慰金等の支給に関する事項を調査する審査会の設置を行うために、所要の改正を行うもの。

可決

全員賛成

## その他

指定管理者の指定について

鷹取の家の指定管理者の期限が、令和8年3月31日をもって満了することから、梶原町の公の施設にかかる指定管理者の指定手続き等に関する条例第4条により指定管理者の候補者を選定したので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

指定管理者の指定について

梶原町農村景観活用交流促進施設（雲の上の温泉）、梶原町雲の上のプール、梶原町観光交流センターの各施設の指定管理者の期限が、令和8年3月31日をもって満了することから、梶原町の公の施設にかかる指定管理者の指定手続き等に関する条例第4条により指定管理者の候補者を選定したので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

梶原町四万川区辺地総合整備計画の変更について

梶原町初瀬区辺地総合整備計画の変更について

梶原町松原区辺地総合整備計画の変更について

計画を変更することにより、今年度以降の辺地対策事業債の発行を可能とし、財源の確保を図るもので、

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

工事請負契約について

（令和7年度道路メンテナンス事業補助町道440号線井の谷橋2橋梁修繕工事）

工事請負契約について

（令和7年度防災・安全社会資本整備交付金事業第1-A76-029号町道日野地線法面改良工事）

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

高幡広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更について

高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更に伴う財産処分について

高幡広域市町村圏事務組合規約内の共同処理する事務の一つである「須崎斎場の設置及び維持管理並びに運営に関する事務」が一部事務組合に移譲されることに伴い、同組合規約の変更及びそれに伴う同組合の財産処分について協議したので、地方自治法第290条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

## 吉田尚人君に対する感謝決議

平成29年の梶原町長就任以来、2期8年にわたり、本町の発展と町民の福祉向上のために多大なる尽力をなした。その功績は、町民誰もが認めるところである。特に、「健康」「教育」「環境」「産業」「くらし」「つなぐ」を政策の柱として掲げ、「子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷 梶原」の実現に向けて、常に変化する社会情勢の中にあっても、揺るがない信念のもと精力的に町政を推進した。

この間、誰も経験したことのない新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面し、感染拡大防止への迅速かつ的確な対策を講じるとともに、ロシアによるウクライナ侵攻などに端を発する、激動する社会情勢下での物価高騰対策や、子育て支援、事業者への経済支援、教育現場での児童・生徒への対応など、多岐に



議長、吉田町長(右)

わたる喫緊の課題に対し、終始一貫して真摯な姿勢で取り組み、梶原町の自治の発展に著しく貢献した。その功績は誠に多大である。

よって、ここに、同君に対し深甚なる感謝の意を表するとともに、別紙記載文による感謝状を贈呈するものとする。以上決議する。

提出者 議会議員 森田 呂弥

可決 全員賛成



議長から町長(右)へ贈呈される感謝状

## 条例

### 梶原町火入れに関する条例の一部改正について

火入れの中止判断基準について、本年7月の中央防災会議において防災基本計画の修正が決定されたこと及び近年の状況を踏まえ基準の改正を行うもの。

可決 全員賛成

## 議会条例

### 梶原町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について

議会議員へ支払う期末手当の支給日を、年1回を2回にわけて支払うよう条例の改正について議会の議決を求めるもの。

提出者 議会議員 森田 呂弥

### 提案理由(趣旨弁明)

地方自治法第203条第3項に基づき、議会議員に支給される期末手当について、議員の職務に対する経済的な支援をより安定的に行うとともに、他の公職者や全国の自治体における一般的な支給慣例との整合性を図るため、本条例の一部を改正し、支給回数を2回に改めるもの。

可決 全員賛成



議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



12月 定例会(第382回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案 番号	議 案 名	審 議 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8
			矢 野 明	藤 原 伸	來 米 豊 史	森 田 呂 弥	西 川 豊 正	土 釜 清	市 川 岩 亀	西 川 慶 男
第 59 号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度梶原町一般会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	—	○
第 60 号	令和7年度梶原町一般会計補正予算(第5号) 総額を59億5千857万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 61 号	令和7年度梶原町立松原診療所特別会計補正予算(第1号) 総額を1千902万5千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 62 号	令和7年度梶原町立四万川診療所特別会計補正予算(第1号) 総額を1千552万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 63 号	令和7年度梶原町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 総額を5億2千733万8千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 64 号	令和7年度梶原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 総額を5億5千513万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 65 号	令和7年度梶原町簡易水道事業会計補正予算(第1号) 総額を1億877万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 66 号	令和7年度梶原町下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収支総額を1億465万9千円、資本的収支総額を5千177万5千円	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 67 号	令和7年度梶原町病院事業会計補正予算(第2号) 収益的収支総額を6億7千918万6千円、資本的収支総額を5千373万5千円	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 68 号	令和7年度梶原町給与等集中管理特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 69 号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 70 号	梶原町犯罪被害者等支援条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 71 号	梶原町景観条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 72 号	梶原町地域マイクログリッド設備の設置及び管理に 関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 73 号	梶原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の 一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 74 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 75 号	梶原町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する 基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 76 号	梶原町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 77 号	梶原町火入れに関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 78 号	指定管理者の指定について(鷹取の家)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 79 号	指定管理者の指定について (梶原町農村景観活用交流促進施設、梶原町雲の上のプール、梶原町観光交流センター)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 80 号	梶原町四万川区辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 81 号	梶原町初瀬区辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 82 号	梶原町松原区辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 83 号	工事請負契約について (令和7年度 道路メンテナンス事業補助 町道440号線 井の谷橋2 橋梁修繕工事)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 84 号	工事請負契約変更について (令和7年度 防災・安全社会資本整備交付金事業 第1-A76-Q29号 町道日野地線 法面改良工事)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 85 号	高幡広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更 及び高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第 86 号	高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更に伴う財産処分 について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
発議第1号	梶原町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
発議第2号	吉田尚人君に対する感謝決議議案の提出について	同意	○	○	○	○	○	○	—	○

# 一般質問

## 雲の上のホテル 跡地の活用策は？

来米 豊史 議員

まちづくり  
産業推進課長

具体策は定まっておらず  
慎重な判断が必要

雲の上のホテル建設予定地については、現在、建設時期や具体的な計画が定まっておらず、土地を長期間使わないままにしておくことは、観光や交流の機会損失につながる。次年度に何のように取り組んでいくのか問う。

**Q** 雲の上のホテル建設予定地について、現時点での町の基本的な考え方は？

**A** まちづくり産業推進課長

町からは、現時点では跡地の具体的な活用方針や事業計画は定まっておらず、跡地の遊休化が長期化することは望ましくなく、町としても有効活用の必要性は認識している。

**Q** ホテル建設が未定の期間に、跡地を暫定的に活用する考え方について、町の見解は？

**A** まちづくり産業推進課長

担当課として現時点で具体的な暫定活用策を検討しているわけではないものの、一般論として、過大な費用をかけず、将来

の計画を妨げない形での暫定活用については検討の余地があるが、住民合意や費用対効果を踏まえ、慎重な判断が必要である。



臨時駐車場として使用されている雲の上のホテル跡地

**Q** トレーラーハウスを活用した宿泊機能の整備について、可能性や課題は？

**A** まちづくり産業推進課長

トレーラーハウスは一定の可能性はあるが、持続的な運営に向けた課題も多く、総合的な検討が必要である。

**Q** 隣接するキャンプ場との連携による相乗効果について

て、町はどう評価するのか？

**A** まちづくり産業推進課長

キャンプ場とトレーラーハウスを組み合わせることで、天候に左右されにくい宿泊環境を提供でき、利用者の選択肢が広がる。これにより、家族連れや高齢者など幅広い層の来訪が期待でき、滞在時間の延長や消費額の増加など、地域経済への波及効果が見込まれる可能性がある。

**Q** 災害対策施設としての活用や、国の支援制度・補助金の活用について、今後の考えは？

**A** まちづくり産業推進課長

現時点で具体的な支援制度や補助金の把握には至っていないものの、今後、制度の有無や内容について調査・研究を行う必要がある。仮に活用可能な制度があれば、初期投資の負担軽減につながり、導入の選択肢を広げることになる。今後は新しい町長のもとで、総合的に議論されることになる。

**Q** 今後民間との協力や官民連携の可能性を検討する余地があるのか？

**A** まちづくり産業推進課長

一担当課で判断することは出来ないが、他自治体では、観光や防災を切り口にトレーラーハウス事業者と連携している例があり、梶原町においても目的や効果が明確であれば民間企業との連携は可能であると考えている。



無印良品インフラゼロハウス



# 一般質問

森田 呂弥 議員

子どもたちが  
安心して学べる  
教育環境を  
守るには

学校・家庭・教育委員会の  
連携が必要



子ども達の安心・安全を守る  
ための教育体制について

**Q** 梶原学園における盗撮リ  
スクを教育委員会として  
どのように認識しているのか。

**A** 教育現場の信頼を失墜させ、  
児童生徒の心を深く傷つける  
行為であり、断じて許されない  
ものと認識している。

本年6月に発生した県内の  
盗撮事案を受け、直ちに校内の  
緊急点検を実施し、トイレ  
や更衣室、教室、寮等を確認  
した結果、いずれも異状なし  
との報告を受けている。

現在も継続的な点検と、教  
職員への不祥事防止研修を行  
い、不祥事全般の防止と服務  
規律の徹底に努めている。

**Q** 教職員による、ICT機器  
や私物スマートフォンの不  
適切利用を防ぐためのルール整  
備を、見直す考えがあるか。

**A** 学校配備のICT端末は県の  
利用ルールに基づき、教育目的  
以外の使用禁止や、撮影データ  
の校内サーバーへの移行を徹底  
している。

私物スマートフォンは、不祥事  
根絶のための校内ルールを定め、  
原則として児童生徒の前での使  
用は禁止している。

校内ルールは本年度途中にも  
見直しを行っており、今後も状  
況に応じて適切に改正していく。

**Q** 不祥事を未然に防ぐための  
研修や、生徒や保護者が  
相談しやすい通報環境の整備は  
できているのか。

**A** 県教育委員会が実施する初  
任者研修や年次研修に加え、  
梶原学園独自の取り組みも行っ  
ている。長期休業中を中心に全  
体研修を実施し、あわせて若  
手教員向けの研修を年2回行っ  
ている。

教職員の人事異動により組織は  
流動的ではあるが、今後も継  
続的な研修等を通じ、服務規  
律の徹底と不祥事の根絶に向  
けて取り組んでいく。

相談体制については、各学級  
担任や養護教諭を窓口とする  
ほか、県作成の啓発チラシを配  
布し、学校外の相談窓口につ  
いても周知している。また、全児  
童生徒を対象に無記名の生活ア  
ンケートを実施し、教職員から  
の被害も含めて把握できる仕組  
みとし、早期発見・早期対応  
に努めている。本学園では、小  
中一貫教育の強みを生かし、複  
数の教員の目で児童生徒を見守  
る体制を整えており、今後も、  
教職員間の情報共有を徹底す  
るとともに、スクールカウンセ  
ラー等の外部専門家と連携し、

安心して相談できる環境づくりに  
努める。

**Q** スマートフォンの普及によ  
り、子どもが加害者とな  
る危険性も指摘されている。ど  
のような予防教育を行っている  
のか。

**A** タブレット端末を含む個人端  
末の所持率は、小学校で41%、  
中学校で84%となっている。学  
校内での端末の取り扱いについて  
は、原則として持ち込みを禁止  
している。遠距離通学や授業で  
使用するタブレット端末につ  
いては、ルールブックを作成し、そ  
れに基づいた指導を徹底してい  
る。

スマートフォンの普及により、  
盗撮を含むプライバシー侵害が  
容易に行われ、誰もが加害者に  
も被害者にもなり得る状況にあ  
る。特に小、中学校段階での指  
導は極めて重要であると認識し  
ており、被害を未然に防ぐため  
の情報モラル教育を充実させ、  
家庭と連携して子どもたちが自  
律的に端末を扱えるよう、継続  
して指導していく。

町制60周年の  
取り組みについて

**Q** 町制60周年記念事業につ  
いてどのような検討が進  
んでいるのか。

**A** 総務課長  
町民の皆さんと一緒に、しっ  
かりとした節目の年にしてい  
きたい。

これまでの周年事業と同様に  
実行委員会を立ち上げ、11月  
には記念式典を開催する。

**Q** 梶原の60年の歴史に名を  
刻む吉田町長として、こ  
の節目を迎える町民の皆様へ向  
けたメッセージを！

**A** 町長  
60年は、人に例えれば還暦に  
あたり、再出発の年でもありま  
す。人口減少という課題の中に  
あっても、町民一人ひとりが未  
来に向けて力を合わせようと思  
える記念式典が開催されるこ  
とを期待しています。

先人の皆様が、多大な努力に  
より築かれた本町の歴史を大  
切にし、新町長のもと、町民同  
士のつながりや連帯感という強  
みを改めて確認し、次の時代へ  
つなぐ節目の年となることを心  
より願っています。



12月  
臨時会

議案審議の概要

提案され審議した主な議案についての概要（※質疑は抜粋）

補正予算

一般会計補正予算（第6号）

＜主な補正内容＞

●総務費

711万9千円

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援するため、国からの補助金を受けて、令和7年9月分の児童手当支給対象児童を給付対象として、こども一人につき2万円の一時金を支給する子育て応援手当給付金700万円及びその給付にかかる事務費の増額によるもの。

可決

全員賛成

その他

教育委員の任命に付き同意を求めることについて

現委員である吉富文氏が令和8年3月4日をもって任期が満了することに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求めようとするもの。

新議員の紹介

令和7年12月7日に行われた梶原町議会議員補欠選挙において、矢野明氏（梶原町大蔵谷）が見事当選されました。

また、12月17日に行われた12月定例会において、まちづくり常任委員会委員に選任されました。



矢野 明 氏



吉富 文 氏

期間：令和8年3月5日  
～令和12年3月4日

同意

全員賛成

議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



12月 臨時会(第383回)

（賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない）

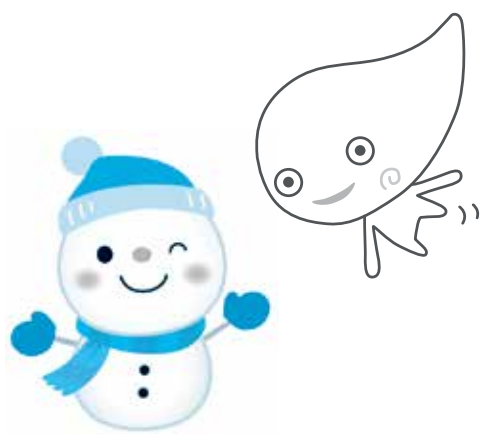
議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			矢野明	藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	土釜清	市川岩亀	西川慶男
第87号	令和7年度梶原町一般会計補正予算（第6号） 総額を59億6千569万6千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	—	○
第88号	教育委員の任命に付き同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	—	○



# わたしたちはこんな議会活動をしています

## 議会の動き

31日	トップセミナー	10月	2日	高原畜産センター総会	9月	13日	梶原学園運動会
25日	コスモスマツリ	8日	8日	四国地区長村議会議長会研修会	16日	16日	高知県議会しまがわ集活視察
25日	西宮市民祭り	8日	8日	自衛隊岩国基地との懇親会	20日	20日	まるかじり大会
22日	宮崎県高岡町議会視察対応	8日	8日	愛知県清須市議会視察対応	25日	25日	四国四県町村長・議長大会
22日	和歌山県みなべ町議会視察対応	10日	10日	高幡町村議会議長会	26日	26日	高幡東部清掃組合議会
20日	静岡県裾野市議会視察対応	11日	11日	親睦体育大会	30日	30日	高幡消防組合消防長来庁
19日	及び新本庁舎落成	12日	12日	脱藩マラソン前夜祭			
18日	津野町制施行20周年記念式典	12日	12日	高陵消防連合演習			
18日	梶原こども園運動会	12日	12日	脱藩マラソン大会			
15日	東京都目黒区議会視察対応						
12日	県選出国会議員との意見交換会						
12日	東京都市圏議会視察対応						
12日	脱藩マラソン大会						
11日	脱藩マラソン前夜祭						
10日	親睦体育大会						
8日	高幡町村議会議長会						
8日	愛知県清須市議会視察対応						
8日	自衛隊岩国基地との懇親会						
8日	四国地区長村議会議長会研修会						
2日	高原畜産センター総会						



## 令和7年9月から11月までの会議、委員会

月 日	用 務
9月 3日	議会運営委員会
9月 8日	9月定例会
9月 9日	決算審査
9月12日	9月定例会

月 日	用 務
10月 3日	議会広報編集委員会
10月 9日	議会広報編集委員会
11月19日	まちづくり常任委員会

※本会議、委員会等、議長及び委員長が出席要請した活動のみ記載

### 寄付のお礼

この度、次の方から「議会だより 四万十源流」に対し寄付をいただきました。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

愛媛県鬼北町  
松 本 君 恵 様

### ※ 閉会中の所管事務調査事項 ※

各委員会は、3月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

- 議会運営委員会  
→ 3月定例会の運営について
- 議会広報編集委員会  
→ 議会広報の発行について

# 令和7年度議長杯争奪 ゲートボール大会が 開催されました



12月21日(日)和田城横ゲートボール場において、令和7年度議長杯争奪ゲートボール大会が、雨がしとしと降る寒空のもと町内6チーム28人の皆さんの参加により開催されました。  
結果は次のとおり。

優勝 中央衛星会  
準優勝 上松長寿会  
第三位 四万川



そうそう  
そこよ!



うわあ  
おいしい



## あとがき



時間(とき)の経つのは早いもので、2026年を迎えました。能登半島地震から2年、東日本大震災からは15年が経過しようとしています。

昨年も世界での紛争や、地震・豪雨などの自然災害により、多くの尊い命が失われました。

激甚化する自然災害が相次ぎましたが、私たち議会も、皆様の生命と暮らしを守るための防災・減災対策に、より一層身を引き締めて取り組んでまいり所存です。本年が皆様にとって平穏で、幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

土釜 清 記